

## 補助対象となる例・ならない例

事業の実施にあたり、対象となる例・ならない例について、次の一覧の例を参考にしてください。

### (1) 地域の郷土食・行事食継承料理教室開催事業

項目	対象となる例	対象とならない例
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向けに個人や団体が開催する料理教室</li> <li>・自治会単位やサークル内の催しとして開催する料理教室</li> <li>・学校行事・園行事・総合学習・学童行事・PTA 親子行事などで開催する料理教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営利目的の料理教室</li> </ul>
講師謝礼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を依頼した場合の謝礼</li> <li>・申請団体のメンバーが受け取る謝礼</li> <li>・申請者本人が受け取る講師料</li> </ul>	
食材費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材、調味料(郷土料理を中心とした献立であること)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理せずそのまま出すもの(付け合わせ用に購入した漬物、デザートに購入したお菓子・果物など)</li> <li>・使い残すほど大量に購入した食材、調味料</li> <li>・自宅にある調味料</li> </ul>

### (2)地域の食材を利用した料理教室開催事業

項目	対象となる例	対象とならない例
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向けに個人が開催する料理教室</li> <li>・自治会単位やサークル内の催しとして開催する料理教室</li> <li>・学校行事・園行事・総合学習・学童行事・PTA 親子行事などで開催する料理教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営利目的の料理教室</li> </ul>
講師謝礼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を依頼した場合の謝礼</li> <li>・申請団体のメンバーが受け取る謝礼</li> </ul>	
食材費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡産の食材</li> <li>・鶴岡産の調味料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡産以外の食材と調味料</li> <li>・使い残すほど大量に購入した食材、調味料</li> <li>・自宅にある調味料</li> </ul>

### (3)地域の食体験・学習事業

項目	対象となる例	対象とならない例
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人や団体が、市民を広く公募し開催する体験・学習事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会単位やサークル内の催しとして開催する事業</li> <li>・学校行事・園行事・総合学習・学童行事・PTA 親子行事として開催する事業</li> </ul>

➤ **新型コロナウイルス感染拡大防止対策**

事業実施にあたっては、下記の対策を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めてください。

- ✓ 参加者はマスクを着用すること
- ✓ 参加者名簿を作成・保管すること
- ✓ 換気を行うこと(1時間に1回10分程度)
- ✓ 施設収容定員の半分以上の人数で実施すること
- ✓ 調理と飲食の場所を分けること
- ✓ 飲食を行う場合は真正面の配置を避けながら、出来るだけ2m(最低1m)以上の間隔を空けること
- ✓ 大皿を避け、個々に盛り付けること

➤ **提出書類**

要綱6, 7のとおりです。交付申請書類は事業実施の2週間前までに、実績報告書類は事業終了後 2 週間以内に提出してください。

➤ **実施期間**

令和3年2月末まで事業を実施し、令和3年3月15日(月)までに実績報告を完了してください。

期日までの報告が難しい場合は、事前に事務局にご相談ください。

➤ **Q&A**

Q1. 市外在住であるが、補助を受けられますか？

→鶴岡市内の団体、または市内在住の方が実施する事業に限ります。

Q2. 郷土料理教室を開催する場合、郷土料理の創作・アレンジについてはどこまで認められますか？

→あくまでも郷土料理に基づいたものに限ります。ただし、ライフスタイルに合わせた「減塩」や「時短」などに伴うアレンジは可。その他事前に相談に応じます。

Q3. 料理教室の開催に伴い試作を行う場合の食材費などは補助金の対象になりますか？

→対象経費に含めません。あくまでイベント当日用に購入したものに限りします。

Q4. 料理教室、体験学習事業の両方に申請することは可能ですか？

→本補助金には一団体・個人につき年度内一度のみ申請可能です。異なる事業区分であっても同一の団体・個人が複数申請することはできません。

Q5. 1つの事業区分で複数回開催する事業を申請することは可能ですか？

→一度の申請で複数回の事業を開催することは可能です。複数回実施する場合は事業計画書に記載ください。ただし、補助上限内かつ予算の範囲内での補助金交付となります。